

英語以外の外国語から見た 大学入試の利点と問題点

-中等教育における英語以外の外国語教育の
現在・過去・未来-

一般財団法人日本私学教育研究所

専任研究員 山崎吉朗

日本英語教育学会 2013.3.17

1

陸軍幼年生徒隊(後の陸軍幼年学校)

- 「ある明治人の記録 会津人柴五郎の遺書 (石光真人編著)中公新書」
- 明治6年(1873年) 入学 15歳
- 教官はすべてフランス人
 - プーセ教官
 - モンセ, ヴァンサンヌ, ルシエ, グービル, ルイ等

日本英語教育学会 2013.3.17

4



アニメの主人公？
何かのキャラクター？

日本英語教育学会 2013.3.17

2

授業内容

- 国語, 歴史, 修身, 習字などいっさいなく, 数字の九九までフランス語を用い, 地理, 歴史など教えるもフランス本国の地理, 歴史なり.
- (略) フランスの山河, 都市村落, 河川, 気候など暗記し, 問われるればただちに回答す.
- これらフランス教官, いかなる人物にてありしか知らず. おそらくは横浜, 神戸などに在住のものを採用せるものごとく, (略)パリに駐在せるとき, 教頭プーセが小さきカフェを営みおる由聞きけれど, (略)

日本英語教育学会 2013.3.17

5

2013年大河ドラマ「八重の桜」記念 新島八重と同志社



著者 山崎吉朗
大河ドラマに寄せる想い
マンガで読む
八重物語
主人公は新島八重
新島八重の生涯
新島八重の生涯
なかりの京都を
歩いてみませんか



同志社女子大学

3

- 余もまたフランスの軍服にて, 洋食をとり, 様式訓練を受けつつあり, (略)例のフランス式軍装にて毎日訓練を受く.
- ATTENTION!
- EN AVANT MARCHÉ!
- フランス教官, フランス語にて訓練す.

日本英語教育学会 2013.3.17

6

- 8年に入りてより、(略) 教育法もフランス式をあらためて『日本外史』『文章規範』を講義し、学生簿その他の記録、すべてフランス語をやめ、毛筆にて日本語にあらたむ。(略) 服装も(略)ドイツ式軍服となれり。

外国語教育？英語教育？

- 新学習指導要領での追加, 変更
 - 小学校 外国語活動
 - 中学校 外国語の時間数が一番多くなる
 - 高等学校 「英語による英語」
英語以外の外国語は“学校設定科目”
→ 授業時数の問題で大迷惑

さらに

- 外国語教育における「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標設定
- 「国際共通語としての英語力向上の」ための5つの提言と具体的施策(2011.7.13.文科省)

今日の内容

- 複言語教育の現状
 - 履修者状況(文科省データ)
 - 公立と私学
- 学習指導要領と外国語
 - 現在の学習指導要領
 - 改訂の歴史
- 進学のための複言語教育
 - 大学入試センター試験
 - 一般受験 AO入試
- フランス語教育実情調査
- 日本外国語教育推進機構

「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策(2011.7.13.文科省)」

- 「外国語には英語以外にも様々な言語が存在し、コミュニケーションの手段という意味ではそれぞれ重要であるが、英語が国際共通語として最も中心的な役割を果たしている言語の一つであるという現状に鑑み、本提言は、英語力の向上を図る方策を中心にとりまとめることとする。」

ちょっとその前に

新学習指導要領(小学校)

第4章 外国語活動

第1 目標

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

1. 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 外国語活動においては、英語を取り扱うことを原則とする。

新学習指導要領(中学)

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

1. 小学校における外国語活動との関連に留意して、指導計画を適切に作成するものとする。
2. 外国語科においては、英語を履修させることを原則とする。
3. (略)

第2の最後

その他の外国語

その他の外国語については、英語の目標及び内容等に準じて行うものとする。

英語以外の外国語

第1章総則

第3款各教科・科目の履修等

1 各学科に共通する必履修教科・科目及び総合的な学習の時間(1)すべての生徒に履修させる各教科・科目(以下「必履修教科・科目」という。)は次のとおりとし、その単位数は、第2款の2に標準単位数として示された単位数を下らないものとする。ただし、生徒の実態及び専門学科の特色等を考慮し、特に必要がある場合には、「国語総合」については3単位又は2単位とし、「数学Ⅰ」及び「コミュニケーション英語Ⅰ」については2単位とすることができる。その他の必履修教科・科目(標準単位数が2単位であるものを除く。)についてはその単位数の一部を減じることができる。

(略)

ク 外国語のうち「コミュニケーション英語Ⅰ」(英語以外の外国語を履修する場合は、学校設定科目として設ける1科目とし、その標準単位数は3単位とする。)

新学習指導要領(高等学校)

第8節外国語

第1款目標

1. 外国語を通じて 言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。

第2款各科目

第1 コミュニケーション英語基礎

学習指導要領 外国語

第2款 各科目

第8 その他の外国語に関する科目

その他の外国語に関する科目については、第1から第7まで及び第3款に示す英語に関する各科目の目標及び内容等に準じて行うものとする。

英語による英語

- 第3款 英語に関する各科目に共通する内容等
- 1から3 (略)
- 4 英語に関する各科目については、その特質にかんがみ、生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるよう十分配慮するものとする。

学習指導要領解説 外国語編 英語編

前回の改訂から外国語科はすべての生徒に必ず履修させる教科となった。これを受けて、必履修科目については、「その他の外国語を履修する場合は、学校設定科目として設ける」科目とし、その標準単位数は3単位とする。」と定められた(学習指導要領第1章総則第3款1の(1)のク)。

まとめると

- 「英語に関する各科目の目標及び内容等に準じて行う」
- ただし、「その他の外国語を履修する場合は、学校設定科目として設ける1科目とし、その標準単位数は3単位とする。」

日本英語教育学会 2013.3.17

19

1 複言語教育の現状

日本英語教育学会 2013.3.17

22

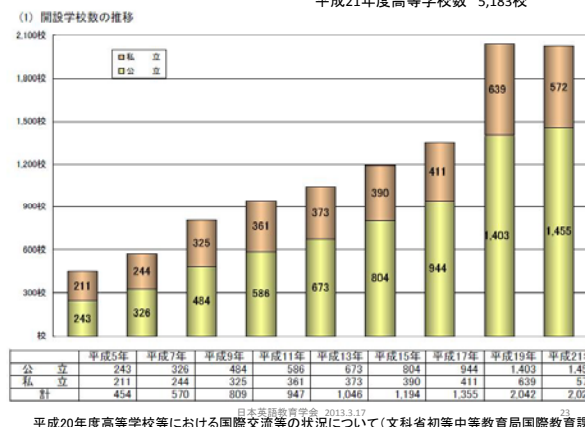
ところが 学校設定科目の単位数

- 卒業までの修得単位数は74単位
- 普通科においては、卒業までに修得させる単位数に含めることができる学校設定科目及び学校設定教科に関する科目に係る修得単位数は、合わせて20単位を超えることができない。
- 第一外国語は成立しない

日本英語教育学会 2013.3.17

20

8 英語以外の外国語の開設について 平成21年度高等学校数 5,183校



平成20年度高等学校等における国際交流等の状況について(文科省初等中等教育局国際教育課)

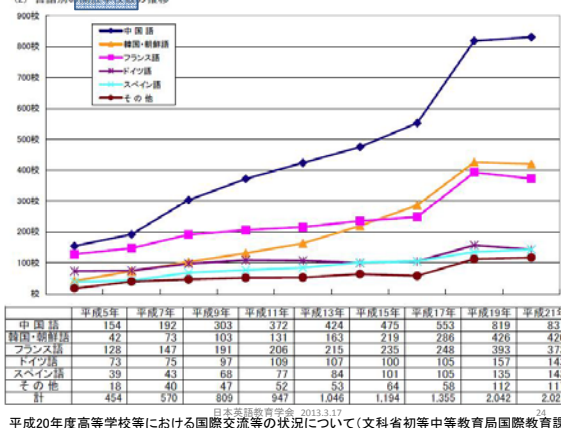
二つの方法

- 学則を変更して、併設型の中高一貫校にする
→ 20単位までだったのが、36単位まで認められる
- 教育課程特例校の申請
→ 上記以上に自由に組める。
→ 毎年の報告が義務付けられる
- いずれにせよ、何もしなければ英語以外の第一外国語は成立させられない

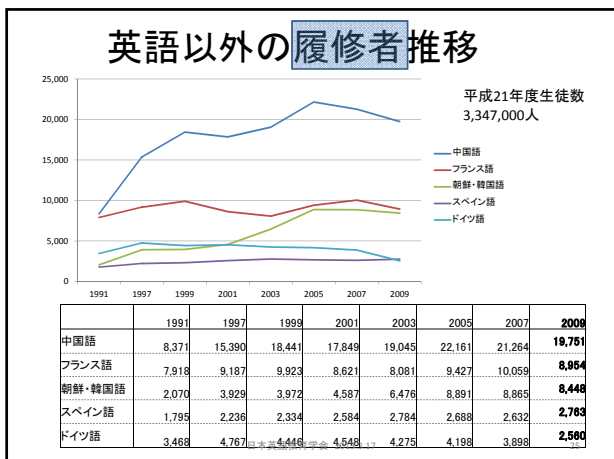
日本英語教育学会 2013.3.17

21

(2) 言語別の開設学校数の推移

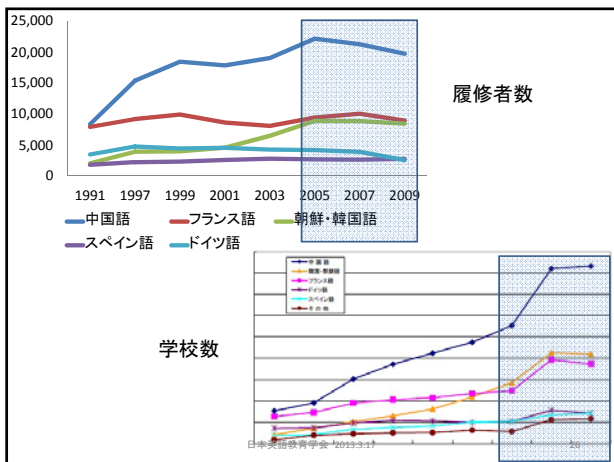


平成20年度高等学校等における国際交流等の状況について(文科省初等中等教育局国際教育課)



2 学習指導要領と外国語

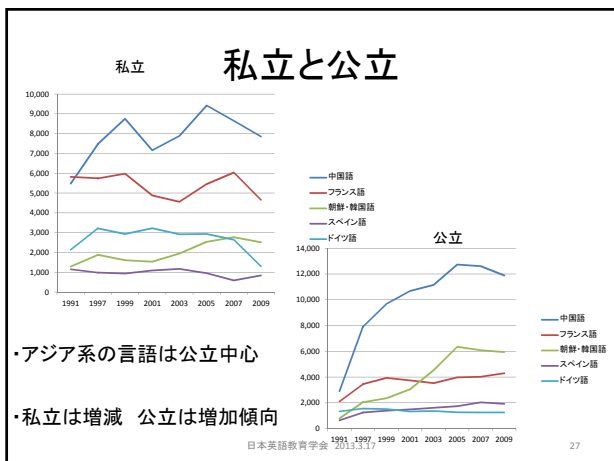
日本英語教育学会 2013.3.17 28



学習指導要領における教科「外国語」の科目の変遷(1958-2009)

| | 1958 | 1969 | 1977 | 1988 | 1998 | 2009 |
|------|---------------|----------------|-----------------|---------------|---------------|------|
| 中学校 | 英語 | | | | | |
| | ドイツ語 | | | | | |
| | フランス語 | | | | | |
| | その他の外国語 | | | | | |
| 高等学校 | 英語A | | 英語I | | 2009 | |
| | 英語B | | 英語II | | コミュニケーション英語基礎 | |
| | 総合英語 | 英語IIA | リーディング | | コミュニケーション英語I | |
| | 英語合宿 | 英語IIB | ライティング | | コミュニケーション英語II | |
| | 英語IIC | オール・コミュニケーションA | オール・コミュニケーションI | 英語表現I | | |
| | | オール・コミュニケーションB | オール・コミュニケーションII | 英語表現II | | |
| | | オール・コミュニケーションC | | 英語合宿 | | |
| | ドイツ語 | | | | | |
| | フランス語 | | | | | |
| | 外国語に関するその他の科目 | | 英語以外の外国語に関する科目 | その他の外国語に関する科目 | | |

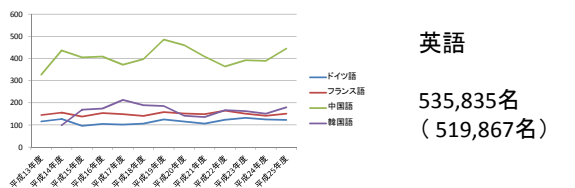
日本英語教育学会 2013.3.17 29



3 進学のための複言語教育

日本英語教育学会 2013.3.17 30

大学入試センター受験者数推移



英語
535,835名
(519,867名)

| | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ドイツ語 | 116 | 127 | 96 | 105 | 102 | 106 | 125 | 116 | 106 | 124 | 132 | 125 | 123 |
| フランス語 | 145 | 156 | 138 | 154 | 149 | 141 | 158 | 152 | 149 | 165 | 151 | 142 | 151 |
| 中国語 | 327 | 436 | 405 | 409 | 372 | 397 | 485 | 460 | 409 | 364 | 392 | 389 | 445 |
| 韓国語 | | 99 | 169 | 174 | 213 | 189 | 186 | 142 | 136 | 167 | 163 | 151 | 180 |

第一外国語フランス語の現状とは？

- 公立
 - 岩手県立不來方高校
 - 埼玉県立伊奈総合高校
- 私立
 - 暁星中高
 - カリタス女子中高
 - 白百合学園中高
 - 雙葉中高
 - ドミニコ学園中高

平成25年度 比率

(6) 外国語(筆記)の受験状況

| 区分 | 英語 | ドイツ語 | フランス語 | 中国語 | 韓国語 | 計 |
|-------|----------|-------|-------|-------|-------|----------|
| 受験者数 | 536,085人 | 123人 | 152人 | 445人 | 180人 | 536,985人 |
| 科目選択率 | 99.83% | 0.02% | 0.03% | 0.08% | 0.03% | 100.00% |

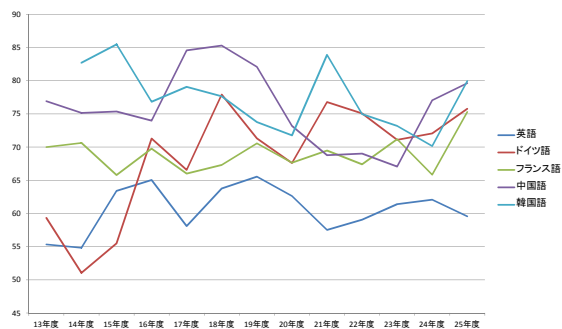
(注) 科目選択率=各科目受験者数/外国語受験者数×100

ドイツ語, フランス語は第一外国語の人数. 第二外国語では難しい.

受験できる大学とは？ AO入試, 推薦入試

- 外国語は問わない
- 一部優先(資格)
 - 獨協大学の一部
- フランス語の筆記試験
 - 立教大学文学部(1外前提) 一般入試廃止
 - 明治学院大学文学部仏文科(2外前提)
 - 中央大学商学部(帰国子女同等) 一般入試廃止
 - 法政大学国際(2外前提)

平均点



フランス語での大学入試(一般)

- 国公立大学
 - 前期入試 後期入試
- 私立大学
 - 大学での統一入試
 - 上智大学(全体) 明治大学(学部毎及び全体)
 - 学部毎
 - 明大 慶應(文, 法のみ) 早稲田(教育のみ) etc.
 - センター試験
 - 学部入試の代わり(早稲田)
 - センター入試の定員枠内 早稲田(人間科学, 法) 成蹊法 etc.

将来は？

- 外部問題
 - 大学入試
 - 一般入試の減少 → 卵が先か鶏が先か
 - AO入試の増加
- 内部努力
 - 中高フランス語教育連絡協議会(一外の集まり)
 - フランス語フェスティバル(一外生徒の発表会)
 - 日仏高校交流ネットワーク"Colibri"運営

日本英語教育学会 2013.3.17

37

2012年度 関西

| | | |
|---|---------|-----------------------------------|
| 1 | 大阪府立旭 | Paris-Lycée Jean de la Fontaine |
| 2 | 大阪府立松原 | Paris- Lycée Rocroy |
| 3 | | Paris-Lycée Sophie Germain-Racine |
| 4 | 大阪府立国際 | Lille: Lycée Montebello |
| 5 | 兵庫県立国際 | Marseille-Lycée Honoré Daumier |
| 6 | | Paris-Lycée Jean de la Fontaine |
| 7 | 兵庫県立宝塚西 | Paris- Lycée Racine |

日本英語教育学会 2013.3.17

40

Colibri

- 2012年暮れに初会合
- 学校同士、家族同士の交換留学
 - 長期留学
 - 短期留学 現在6回が終了
- 今年度から東京にあるLycéeと交流
- ニューカレドニアとも別日程で交流

日本英語教育学会 2013.3.17

38

ニューカレドニア

- 6名の交換 (関東5名、関西1名)
- 日本側出発:
 - 関東: 2013年3月16日(土)~4月
 - 関西: 2013年3月15日(金)~4月
- ニューカレドニア側来日:
 - 関東: 2013年6月1日(土)~22日(土)
SB800 (samedi 1 juin) Tontouta / Narita 12:00-19:10 (samedi 1 juin)
SB801 (samedi 22 juin) Narita / Tontouta 20:55-07:30 (dimanche 23 juin)
 - 関西: 2013年5月31日(日)~6月21日(金)
SB880 (vendredi 31 mai) Tontouta / Kansai 01:45-08:45 (samedi 1 juin)
SB881 (vendredi 21 juin) Kansai / Tontouta 11:50-22:35 (vendredi 21 juin)

日本英語教育学会 2013.3.17

41

2012年度(東北、関東)

| | | |
|----|------------|---------------------------------------|
| 1 | 仙台・聖ウルスラ英智 | Lycée Inter. de St-Germain-en Laye |
| 2 | 長野県立長野西 | Montreuil -Lycée Jean Jaurès - Racine |
| 3 | 埼玉県立伊奈学園 | Montpellier -Lycée Jules Guedes |
| 4 | | Lille: Lycée Montebello |
| 5 | 埼玉県立不動岡 | Paris- Lycée Rocroy |
| 6 | 神奈川県立神奈川総合 | Paris- Lycée Louis le Grand-Racine |
| 7 | 神奈川県立横浜国際 | Reims - Lycée Clémenceau |
| 8 | | Reims - Lycée Clémenceau |
| 9 | | Reims - Lycée Clémenceau |
| 10 | | Reims - Lycée Clémenceau |
| 11 | | Reims - Lycée Clémenceau |
| 12 | 神奈川・カリタス女子 | Paris- Lycée Jean de la Fontaine |
| 13 | | Lille: Lycée Montebello |
| 14 | | Paris- Lycée Jean de la Fontaine |
| 15 | 東京・大妻中野 | Montpellier -Lycée Jules Guedes |
| 16 | 東京・暁星学園 | Lille: Lycée Montebello |
| 17 | 東京・早稲田高等学院 | Paris- Lycée Jean de la Fontaine |
| 18 | 東京・聖ドミニコ学園 | Paris-Lycée Voltaire - Racine |
| 19 | | Lille: Lycée Montebello |

日本英語教育学会 2013.3.17

39

4 フランス語教育実情調査

日本英語教育学会 2013.3.17

42

フランス語教育実情調査

- フランス語教育実情調査
 - 日本フランス語フランス文学会, 日本フランス語教育学会合同
 - 2010年実施

日本英語教育学会 2013.3.17 43

アンケート結果 高等学校

| アンケートの対象 | 回収数 |
|----------|-------|
| 大学等機関 | 388 |
| 高等学校 | 89 |
| 教員 | 189 |
| 大学生 | 1,331 |
| 高校生 | 831 |

日本英語教育学会 2013.3.17 46

5種類のアンケート

| | アンケートの対象 | 回収数 | アンケート項目数 |
|---|----------|-------|----------|
| 1 | 大学等機関 | 388 | 18 |
| 2 | 高等学校 | 89 | 16 |
| 3 | 教員 | 189 | 20 |
| 4 | 大学生 | 1,331 | 33 |
| 5 | 高校生 | 831 | 24 |

1から3の機関及び教員は主に現状調査。
4, 5の大学生、高校生は現状調査と共に意識調査

日本英語教育学会 2013.3.17 44

2 高等学校対象アンケート

1. 設立形態

2-1. 高等学校の分類

日本英語教育学会 2013.3.17 47

高等学校

文科省はフランス語実施校名を非公開
→ フランス大使館経由で文科省から入手

文科省データでは 373校で実施しているが、そのうち241校に送付

| 送付数 | 回答数 | 有効回答 | 有効回答率 |
|-----|-----|------|-------|
| 241 | 94 | 89 | 36.9% |

日本英語教育学会 2013.3.17 45

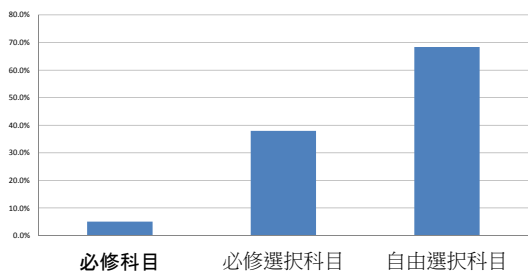
フランス語の履修形態

3-1. フランス語が履修できる生徒

4. 1外か2外か

日本英語教育学会 2013.3.17 48

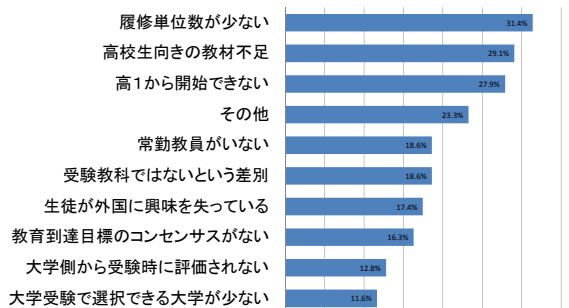
第二外国語としてのフランス語



日本英語教育学会 2013.3.17

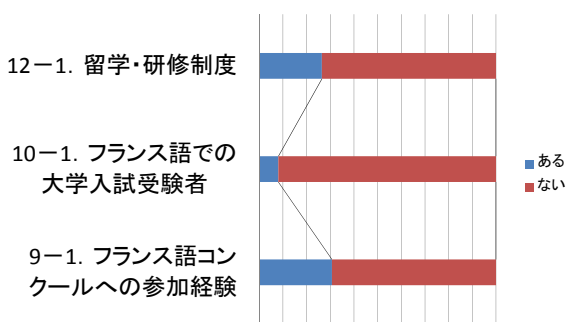
49

問題点



日本英語教育学会 2013.3.17

留学制度, 仏語入試, コンクール



日本英語教育学会 2013.3.17

50

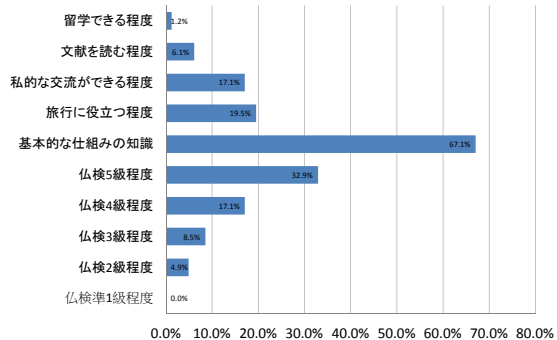
アンケート結果 高校生

| アンケートの対象 | 回収数 |
|----------|-------|
| 大学等機関 | 388 |
| 高等学校 | 89 |
| 教員 | 189 |
| 大学生 | 1,331 |
| 高校生 | 831 |

日本英語教育学会 2013.3.17

53

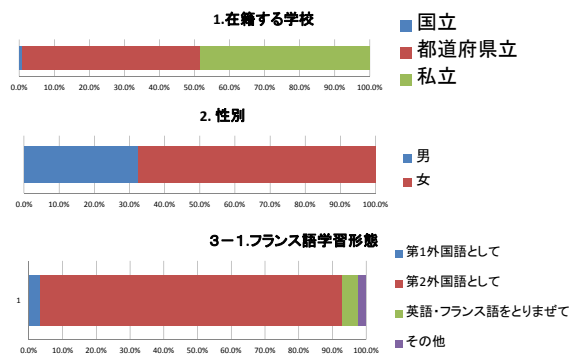
到達目標



日本英語教育学会 2013.3.17

51

5 高校生

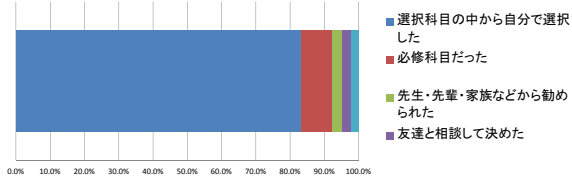


日本英語教育学会 2013.3.17

54

選択理由

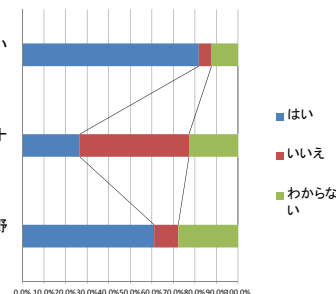
5-1. フランス語選択理由



日本英語教育学会 2013.3.17

55

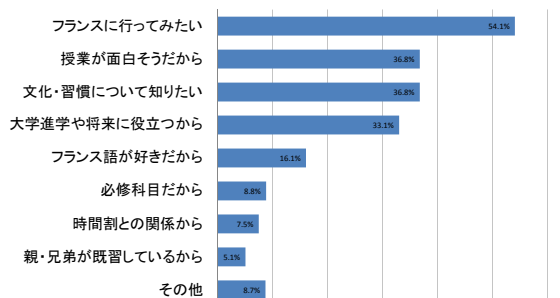
- 22. フランス語圏に行ってみたいか
- 21. 国際社会では英語のみで十分
- 20. フランス語学習によって視野が広がった



日本英語教育学会 2013.3.17

58

選択理由

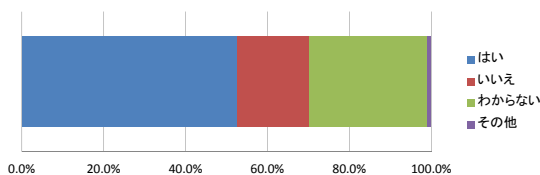


日本英語教育学会 2013.3.17

56

留学希望

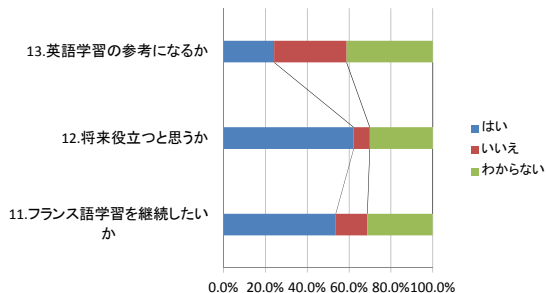
24. フランス語圏への留学・研修に参加したいか



日本英語教育学会 2013.3.17

59

役立ち度



日本英語教育学会 2013.3.17

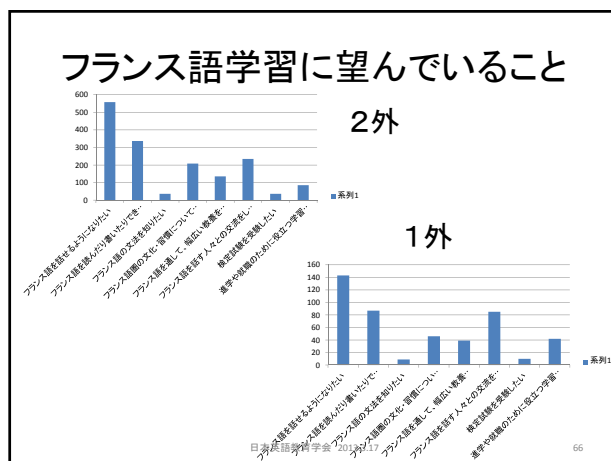
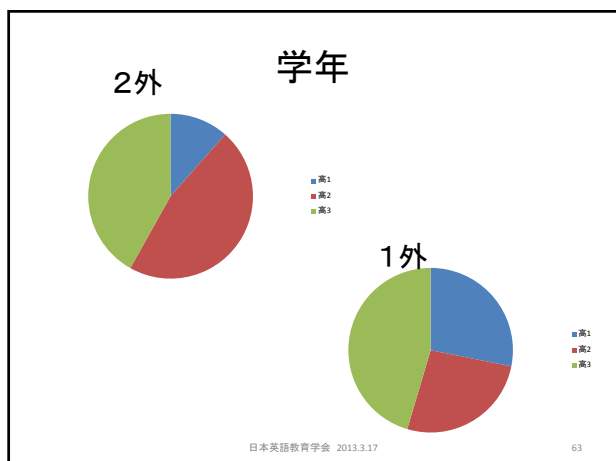
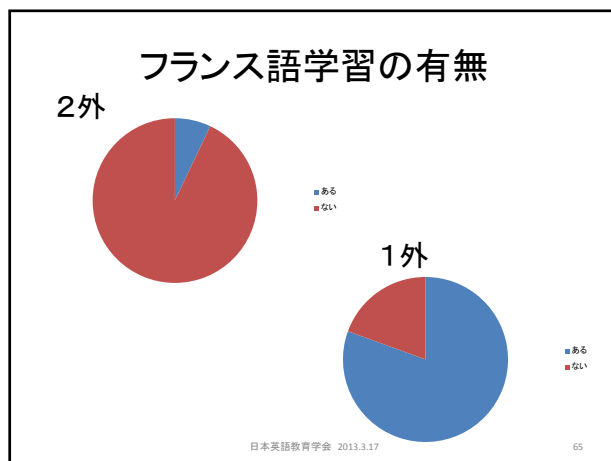
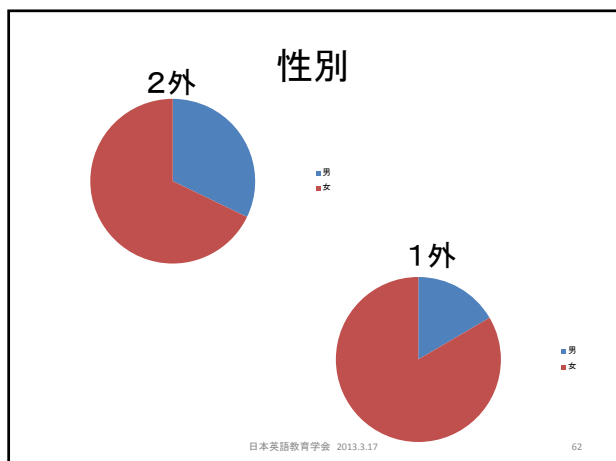
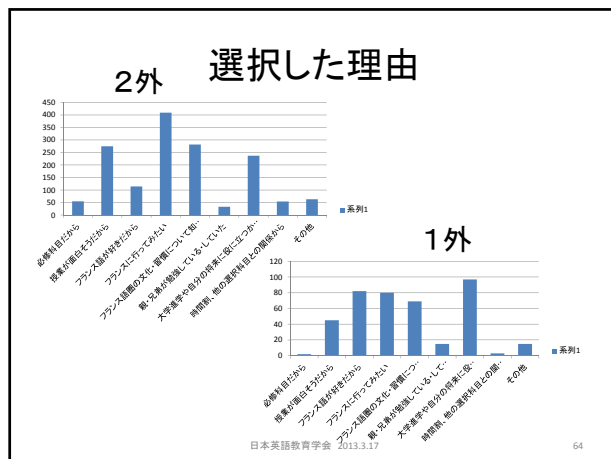
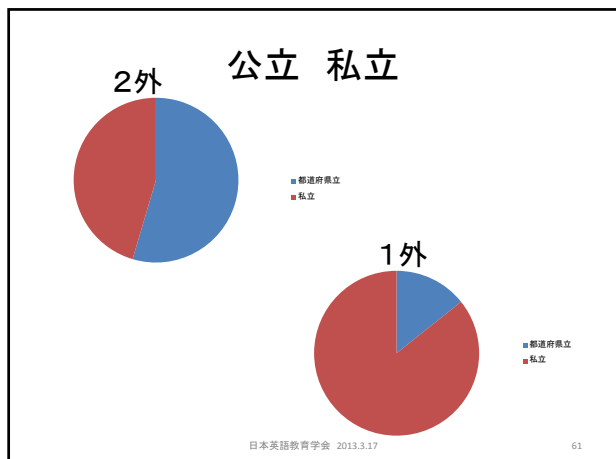
57

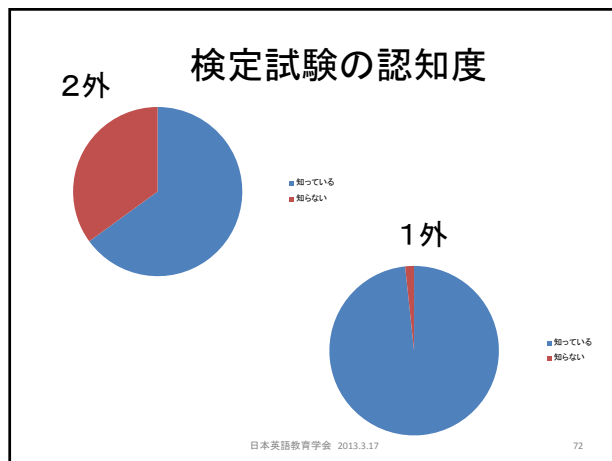
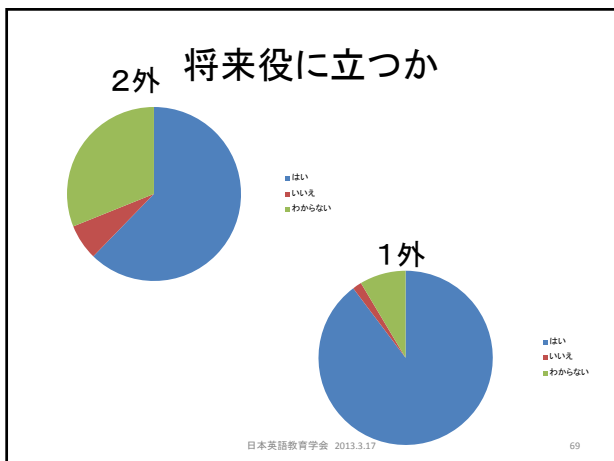
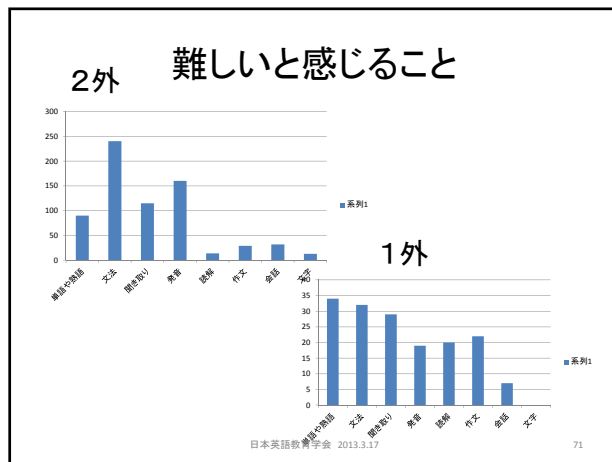
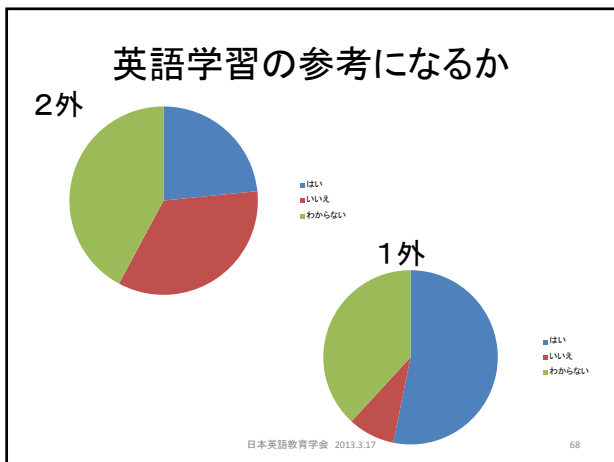
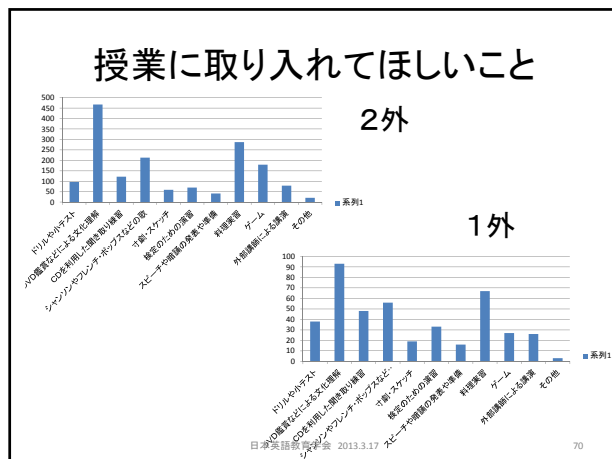
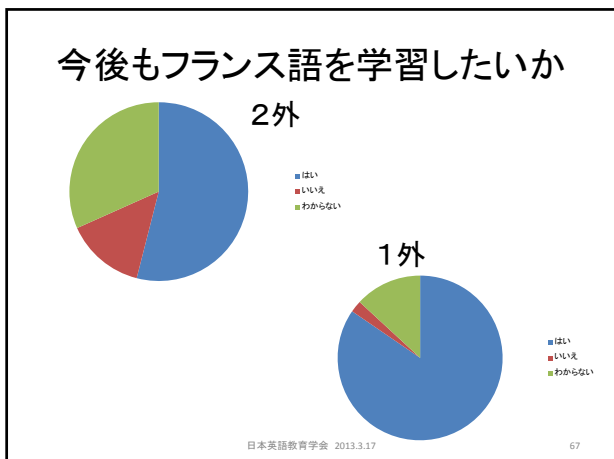
高校生1外と2外の比較

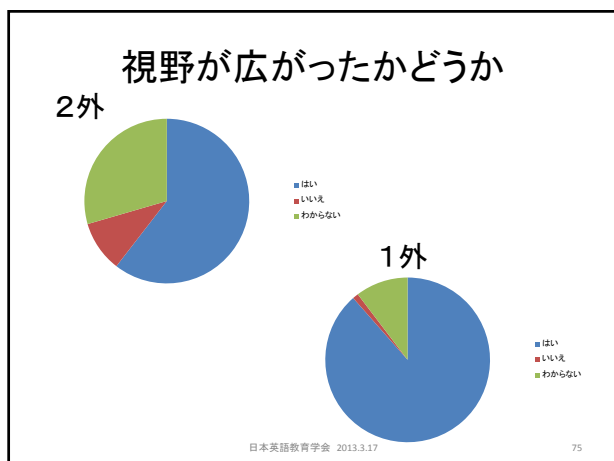
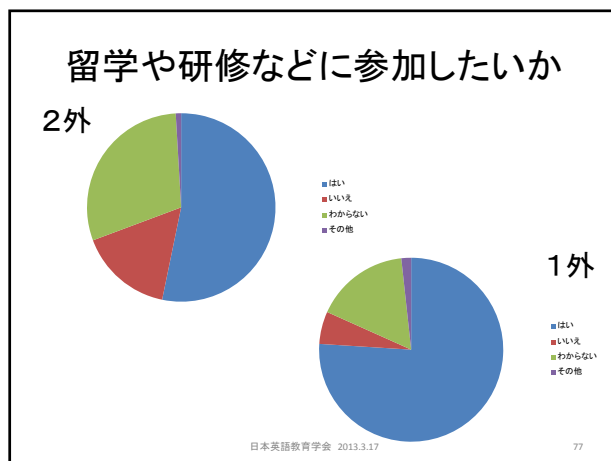
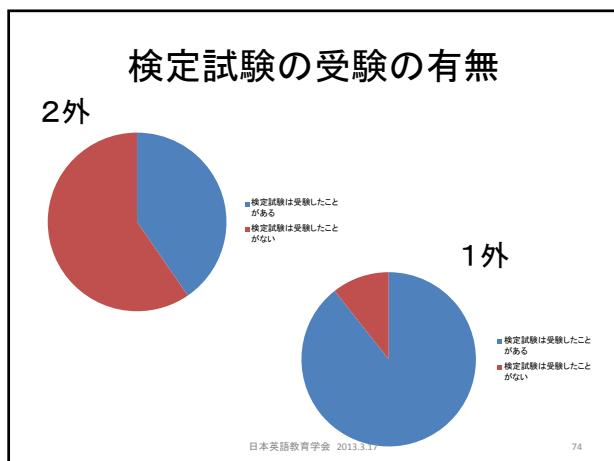
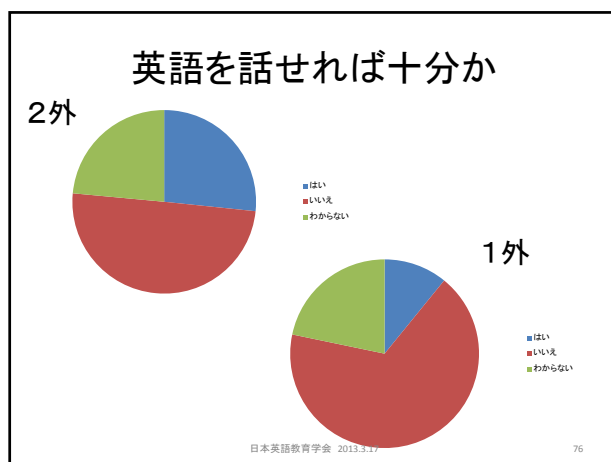
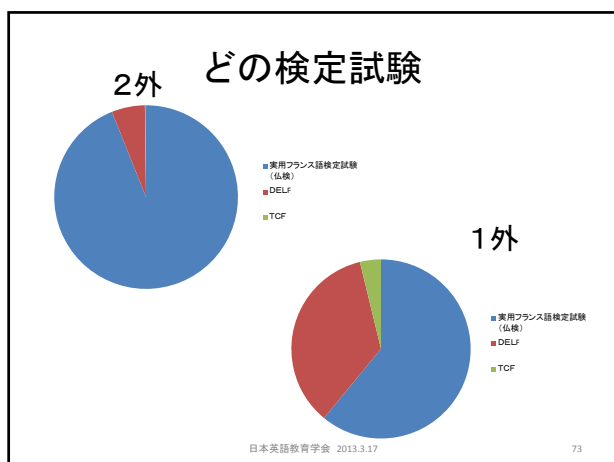
- データ集計で抜けていた部分を再度アンケート
 - 本調査では一外の主要校が未回答で、データにならない
 - 学校数は7校のみ(私学5校, 公立2校)なので直接調査
- 総生徒数(2外と1外だけに限定)
 - 2外 740名
 - 1外 175名

日本英語教育学会 2013.3.17

60







アンケートの公開について

- http://www.sjllf.org/iinnkai/?action=common_download_main&upload_id=161

日本英語教育学会 2013.3.17 78

5 日本外国語教育推進機構

日本英語教育学会 2013.3.17

79

ご静聴ありがとうございました

日本英語教育学会 2013.3.17

82

日本外国語教育推進機構(JACTFL)

- 一般社団法人
- 理事の専門言語
フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、
中国語、韓国語、日本語、英語
- 一般財団法人日本私学教育研究所複言語教育
研究会が一つの母体

日本英語教育学会 2013.3.17

80

- 昨年(2012年)3月3日に開かれた「未来(あす)を
生き抜くための外国語教育に挑む(国際文化
フォーラム、上智大学主催)」がきっかけ
 - 各言語、学会、機関の連携 → 文科省への働きかけ
 - 中等教育での英語以外の外国語教育の必修化
 - 学習指導要領の改訂(10年後)
- 昨年12月3日設立 3月2日にシンポジウム実施
- <http://www.jactfl.or.jp>

日本英語教育学会 2013.3.17

81